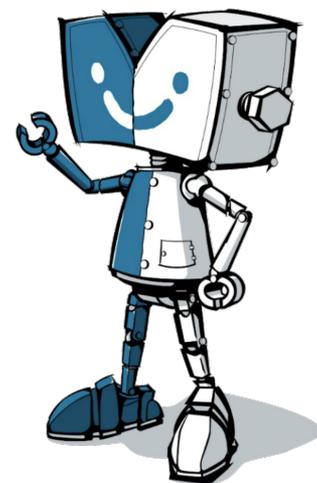


第四次産業革命スキル習得講座認定制度を活用した講座運営について

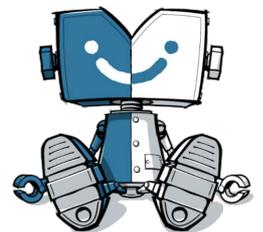
2020年1月15日

株式会社データミックス



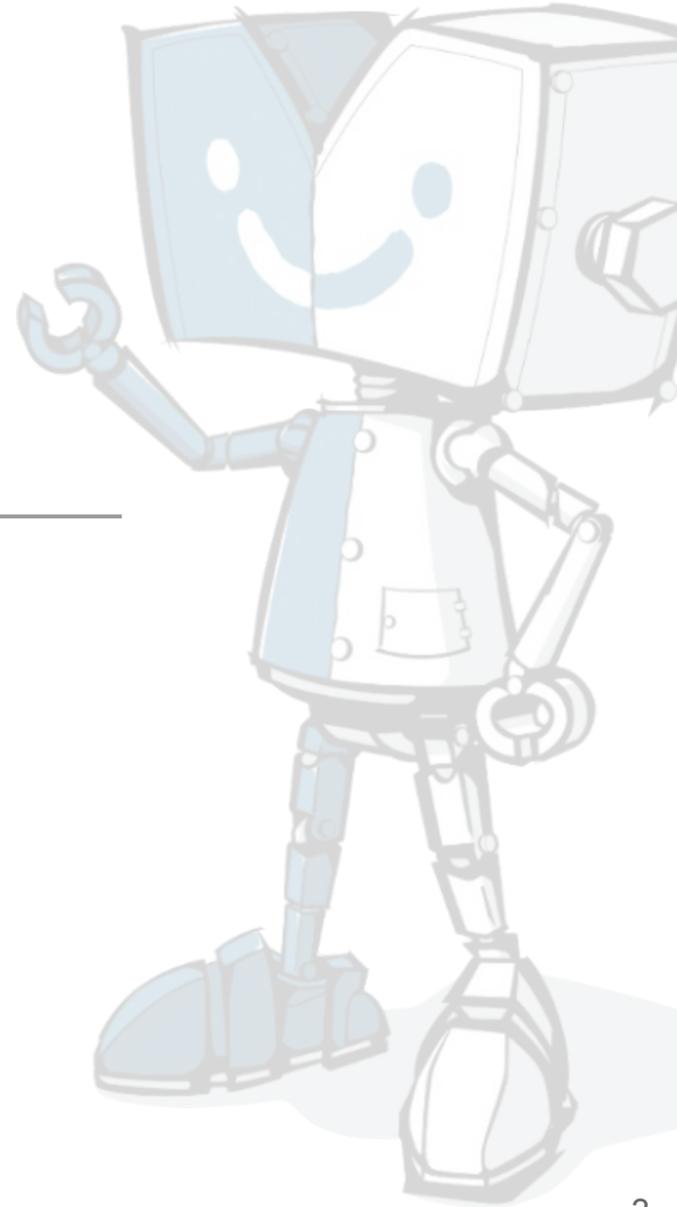
目次

1. 講座の概要
2. 認定制度・給付金制度を活用した受講者募集
3. 講座運営における工夫
4. 認定制度の効果的な活用に向けて



1.

講座の概要



講座概要

運営法人 株式会社データミックス

所在地 東京都千代田区神田神保町二丁目44番

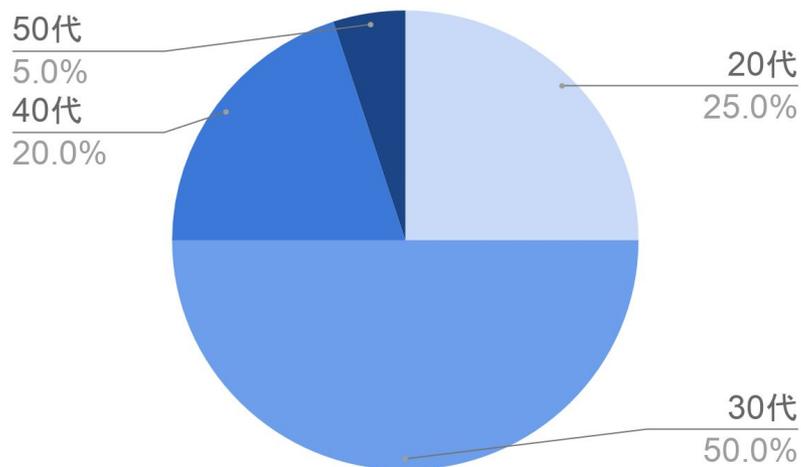
事業概要 ビッグデータ、人工知能、機械学習をはじめとするデータサイエンスに関わる教育・研修事業

認定講座 データサイエンティスト育成コース パートタイムプログラム

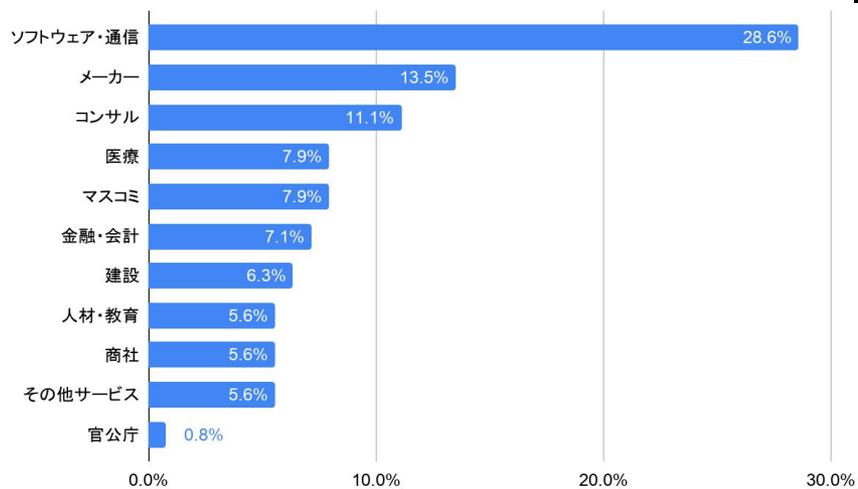
講座概要
通学場所 : 東京都千代田区神田神保町2-44
通学期間 : 7ヶ月間
定員 : 各クラス15名-20名
入学金 : 27,500円(税込)
授業料 : 742,500円(税込)
URL : <https://datamix.co.jp>

受講者層

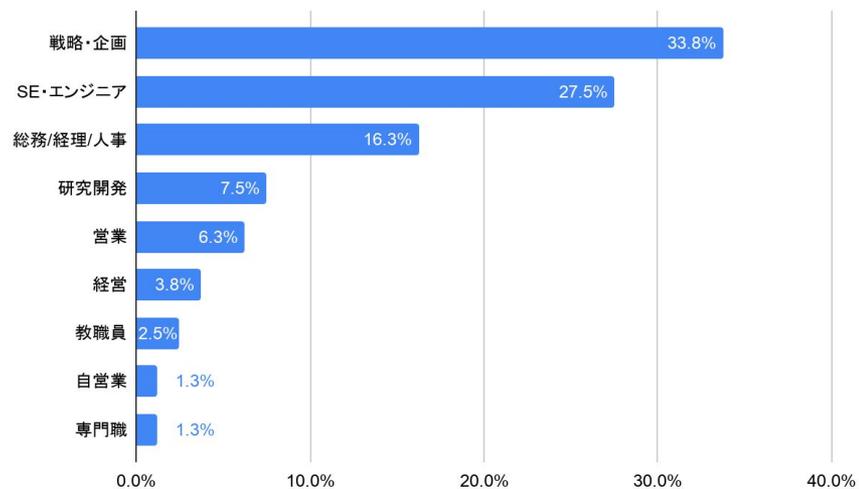
年齢



業種



職種



受講者の声

データサイエンティスト育成コースを受講した理由を教えてください

データ分析組織の立ち上げに際し、スキルを持った人間が社内になかったから。(運輸 /IT本部)

クライアントもしくは社内で保有する大量のデータを分析して、マーケティング施策の提案を求められる機会が増えてきており、その基本知識の習得をしたくて受講しました。(ITサービス/マーケ)

受講内容の何がどのような場面で役に立ったか教えてください

事業における課題をデータを紐付けるまでのステップや実際にデータを分析・予測に活用する手法を学んだことでデータの活用するパターンが広がった。(メディア /デジタル事業部)

社内・社外の高度な知識をもつデータサイエンティストと仕事をする時に、彼らと同じ目線・基礎知識をもって、データ分析の会話ができるようになりました。またクライアントへの提案の時に、データ分析の裏側で起きている統計モデルが分かった上で、統計の知識のないクライアントに、専門的になりすぎないように、分かりやすい説明ができるようになりました。(ITサービス/マーケ)

学習ゴールと講座の特徴

学習ゴール

✓ 高度なデータ分析技術を用いて**ビジネスの課題の解決**ができる

- 「なぜこの分析手法を使うのか」を **技術的な側面とビジネスの側面** から判断できる
- プログラミング言語である **Python** や **R** を使い、求められている課題に対し適切な分析手法を実行できる
- 分析結果を **わかりやすく説明** できる

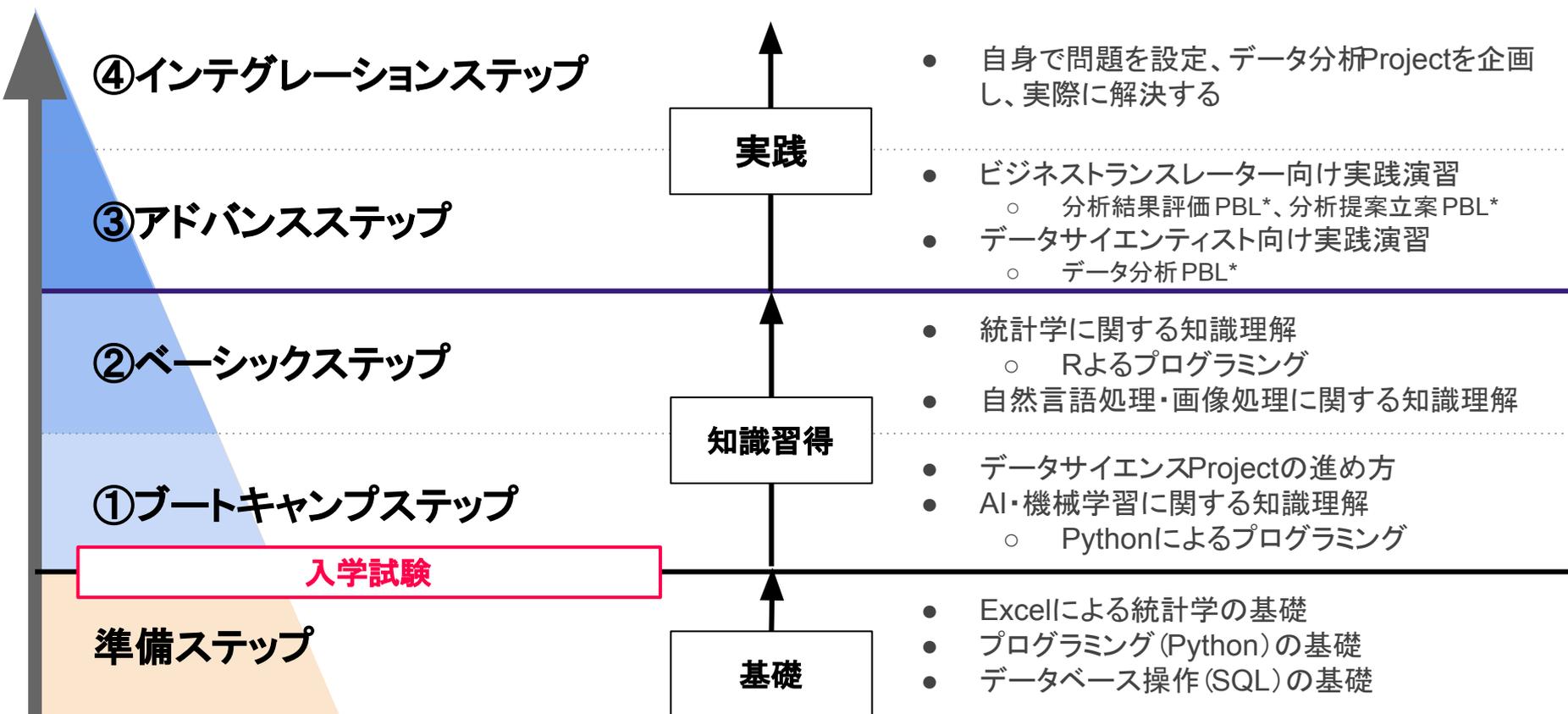
講座の特徴

- **体系立てて** 学習することで、データ分析技術の引き出しを増やします
- 理解を深めるための **クイズやハンズオンでの演習(予復習含む)** を数多く実施し、理解するだけでなく手を動かせることを目標にします
- 生徒数に対して講師やティーチング・アシスタントの数を適切に配置しますので、クラス内での議論や講師とのやりとりを多くすることで内容の理解を深めることができます

講座カリキュラム

また一定の分析経験がある方はブートキャンプステップからスタートできます。

初学者の方は準備ステップ(認定講座対象外)からスタートすることで、無理なく学習できます。

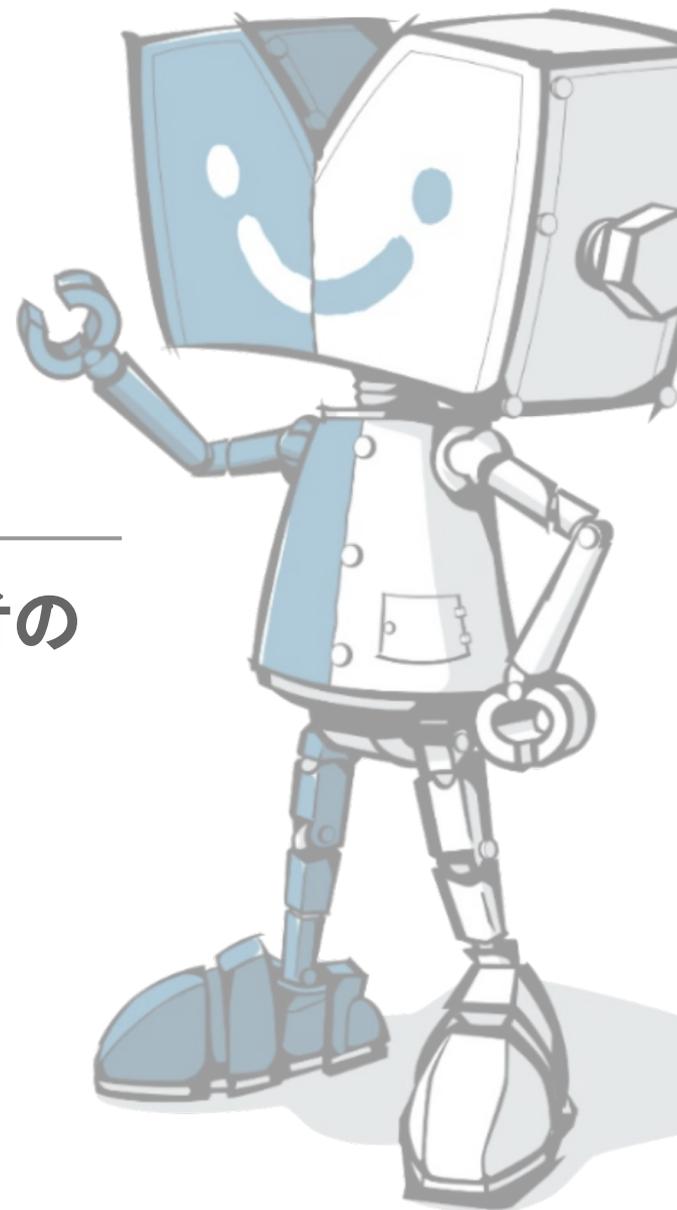


* PBL: Project Based Learningの略。ケーススタディを通じた課題解決型学習

© 2020 DataMix Co.,Ltd.

2.

認定制度・給付金制度を活用した受講者の募集



給付金制度についての説明を丁寧に行う

- 広告や自社ウェブサイトにて、給付金制度をPR
- 説明会参加時点で制度の認知度は高いが、制度理解が進んでいないため、スクール説明会においても給付金制度について丁寧に説明している。



自社ウェブサイト



スクール説明会



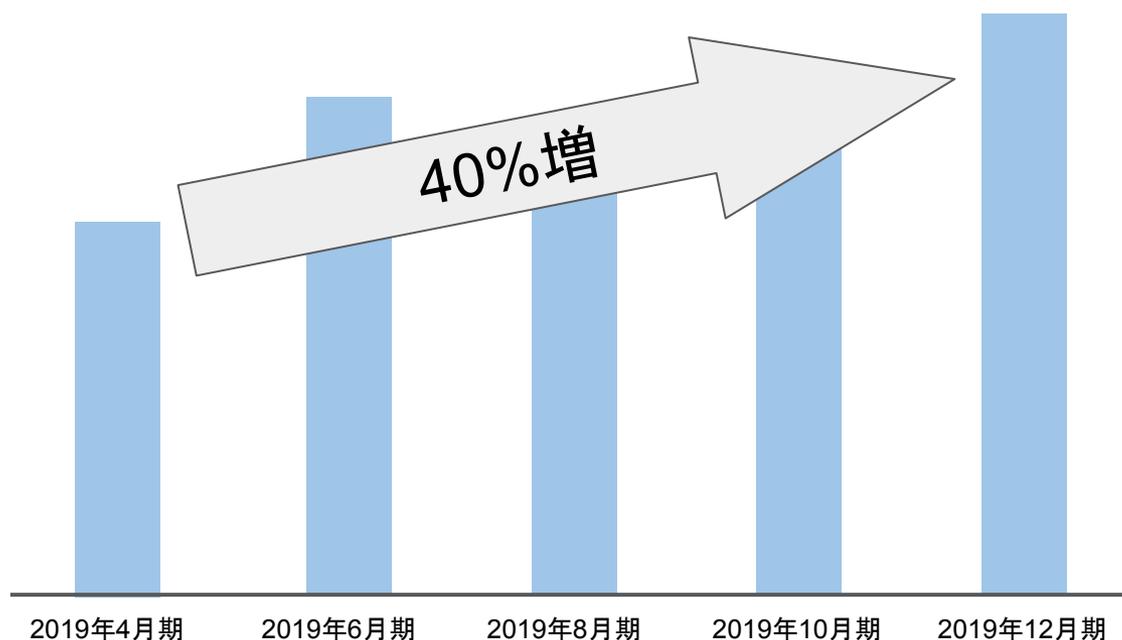
制度の存在を認知

制度の理解を深める

給付金制度の効果

- 給付金制度を導入以来、受講料個人負担での申込者の比率が増加（法人負担での申込者の比率が減少）

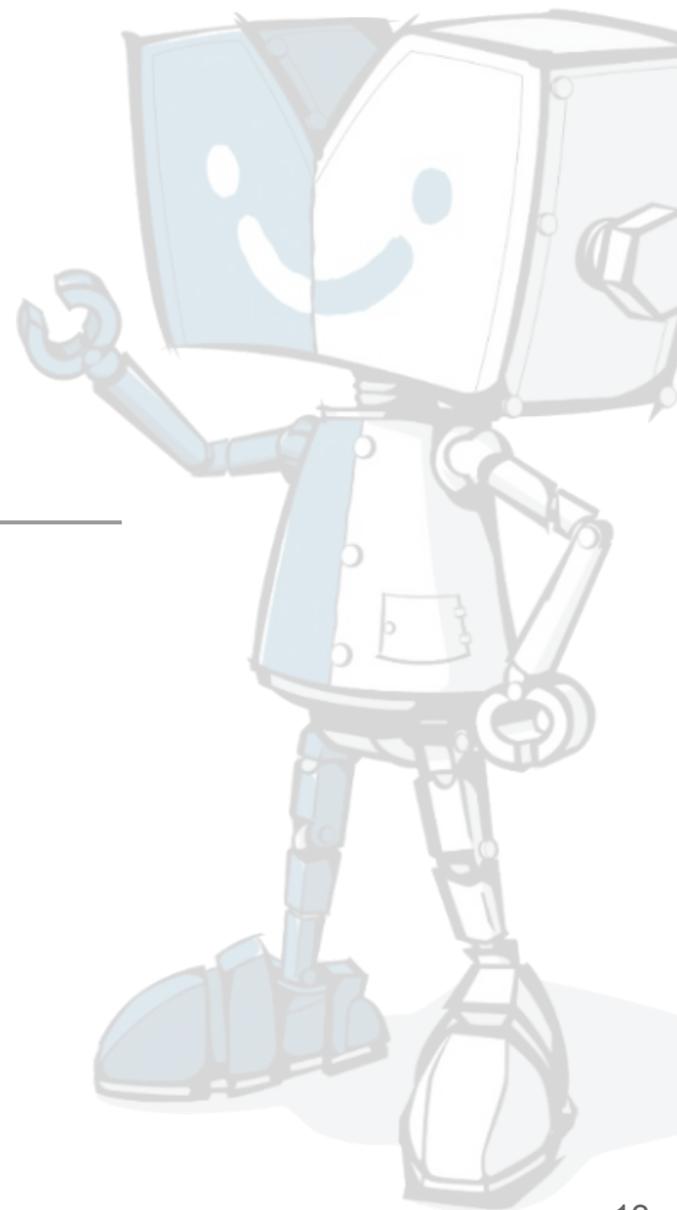
入学者に占める受講料個人負担での申込をした方の比率(%)



※具体的な値は非公表

3.

講座運営における工夫



受講生の質の確保

入学試験による選抜、学習時間確保の案内、到達度確認のための方法を設定し、受講生の質を確保している。

本講座における想定受講者

✓ ビジネスシーンでのデータサイエンス技術適用を志向する方

- ビジネス課題を解決することに興味がある方
(ビジネス課題を解決するための道具として分析手法を駆使したい方)

✓ 数学分野の条件

- 高校数学レベルの知識があること。(得意でなくても構い)
- 入学に際して「数学の試験」を実施します。

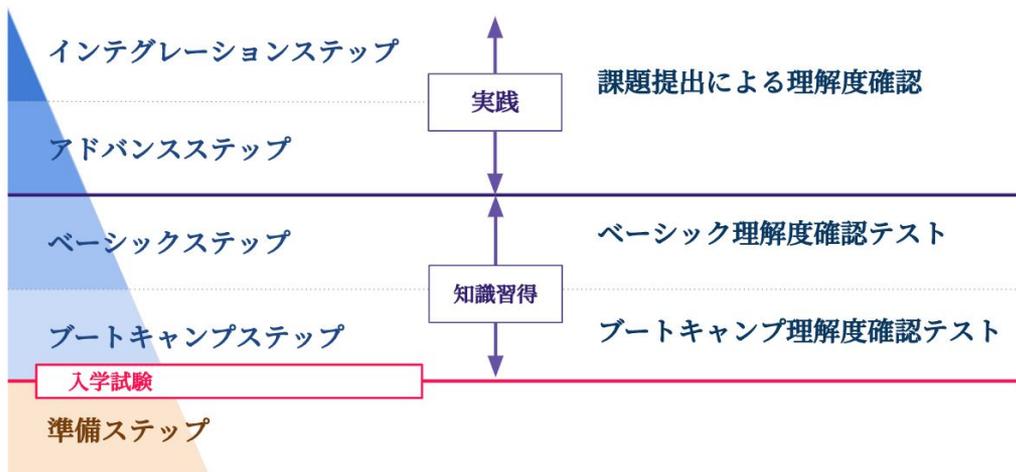
✓ プログラミングの経験

- 現時点で経験の必要はありません。
- 入学に際してPythonの「コーディングの試験」を実施しま

✓ 学習時間の確保

- 予習・復習のために授業時間とは別に週5時間ほどの学習時間と。プログラミング初学者の方は週10~20時間ほどがかか、お時間の確保をお願いします。

到達度確認するための方法



教育の質の確保

以下の方法により教育の質を確保している。

- **講師やTeaching Assistantの適切な人数配置**
- **講師やTeaching Assistantを認定する制度の整備**
- **受講生からの質問対応の迅速化**

卒業生コミュニティづくりのサポート



卒業後の学習コミュニティ

- 卒業発表会では卒業生も多く集まり情報交換が行われています
- 卒業生の勉強会「DataMix.Connect」では最新手法や事例研究など継続的な学習を行っています

meetup

DataMix.Connect

卒業後も継続的に
学ぶ、発見する、交流する

11月23日(土) 13:00
DM Kaggle Event #4: House Price Regression
株式会社データミックス

Kaggleイベント 44名開催します！今回はゲーム対決「House Prices: Advanced Regression」に参ります。卒業生・在校生どちらも大歓迎です。データミックスの大教室をお借りして開催します。場所の関係上、定員を30名で設定しているため、興味のある方は早めの参加お申し込みお待ちしております。

参加者17人

12月7日(土) 14:00
DataMixゼミ #1: 「Attention is All You Need」
株式会社データミックス

【概要】こんな悩みはありませんか・最新の技術にキャッチアップしたい！でも、論文どうやって読み進めていけばいいんだろう。一人で読んでいてもわからない！一人で論文を読んでいるのはさびしい、読んで面白かった論文を共有したい！ゼミ形式でみんなで集まって、疑問などをディスカス...

参加者5人

DataMix在校生・卒業生グループ

DataMix在校生・卒業生グループ
プライベートグループ

情報

ディスカッション
メンバー
イベント
写真
ファイル
グループインサイト
グループを管理
グループのクオリティ

参加済み
お知らせ
シェア
その他

キャリアサポート

受講生のキャリアサポート体制についても随時受講生に案内している。

データサイエンスに特化したキャリアサポート

データサイエンティストとして最初の転職が難しい理由

- 必要なスキルや仕事の内容がわかりにくい
- 求人企業側の期待値が見えない
- 求人企業側のチーム体制がわからない
- データ・ドリブンな文化であるか不明

データミックスのマッチングの特徴

- データサイエンスを学んだキャリアアドバイザーが求人企業
詳細なヒアリングを行うことで仕事内容を明確にします。
その結果、求職者の希望に合う案件を探します。
- 宿題やプロジェクト等の「作品」を求人企業側に提示するこ
スキルを具体的に示すことができます。その結果、求人企業
致しているかを確認することができます。

キャリアサポート：人材紹介サービス（転職者紹介）



20代男性

前職 : IT企業で営業職
転職先 : データ分析企業でデータ分析官
取得講義 : ベーシックまで



30代女性

前職 : インターネット広告でのマーケティング職
転職先 : AIベンチャーでデータサイエンティスト
取得講義 : インテグレーションまで



40代男性

前職 : 航空会社で気象予報士
転職先 : エネルギー関連ベンチャーでデータサイエンティスト
取得講義 : インテグレーションまで

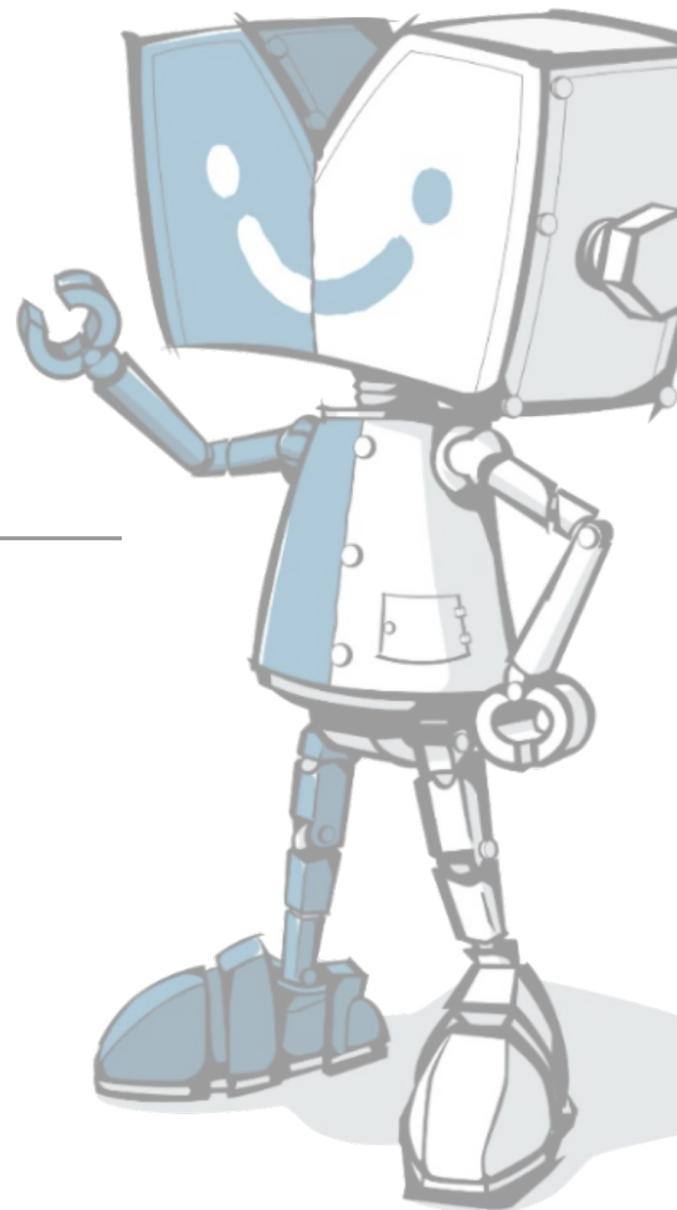


40代女性

前職 : 医療用医薬品のマーケティングリサーチ
転職先 : AIサービス企業でプロジェクトマネージャー
取得講義 : インテグレーションまで

4.

認定制度の効果的な活用に向けて



行政側との手続きにおける留意点

- **中長期的な目線で講座内容の検討する**
 - 半年～1年程度前に、検討・申請が必要
- **窓口である行政側担当者と、密にコミュニケーションをとる**
 - 求められている内容が、正しく申請事項として記載できているか？
 - その変更は「変更」に該当するか？手続き要件を確認する
- **経産省に対する手続きと、厚労省に対する手続きを整理する**

受講生の疑問点や煩雑さを解消する

- **制度利用者を確実に把握して、フォローを行う**
 - 受講生は、必要な手続きのタイミング・書類の種類・書き方等を正確に把握していない
 - スクール側から丁寧にアクションをとることが必要
- **給付資格を満たすための要件を明確に設定して、受講生に周知する**
 - 出席要件や試験要件など。要件を満たさない場合の対応もあわせて周知
 - 後から「知らなかった」と言われないように